

湯来ふるさと新聞

第33号(平成21年2月6日発行)

738-0513
広島市佐伯区
湯来町伏谷 535
湯来ふるさと
プロジェクト
☎0829-86-1439

湯来湧くわく会の朝市

2月1日(日)五日市八幡神社の境内で行われる朝市に、湯来湧くわく会が出店。手づくりこんにやく、寒餅(栃餅入り)、野菜、お寿司などが販売されました。

神社の周囲は住宅地です。入口付近の道は狭いのですが駐車場があります。ちょっと近所までお散歩...といった感じで立ち寄りられた人やベビーカーを押した若いお母さんなどが買い物をしていました。



この朝市には「味の母里」のお寿司が並びました。ちょっと良いなあと思ったのは「こんにやく稲荷」です。普通の稲荷は油揚げの中に寿司飯が詰めてありますが、油揚げのかわりに手づくりこんにやくを使って、黒米を入



れて炊いた寿司飯を詰めただものが「こんにやく稲荷」です。大きさは一口サイズ。勝手ながら「狐原山で花見をしながら、こんにやく稲荷を食べる。良いなあ」と思いました。さて、注意です。朝市がある五日市八幡(はちまん)神社は、西広島バイパスより南側にある神社です。サンリフより北側にある神社は八幡(やはた)神社です。お間違えなく。次回は3月1日(日)に出店です。**そばは大変!**

「ために、そば粉にしたよ」と花みどり公園から連絡をもらったので、1月30日にもらいに行きました。ただいま、そば粉を使ったお菓子を試作中です。

2月4日(水)残りの大部分を製粉しようと、やる気満々で花みどり公園に行きました。ところが、そばの実が機械に詰まってうまく動きません。なぜ?

原因は実の乾燥不足でした。今回、製粉しようとした実は、畑で倒伏していたそばの実です。刈り取り後、農村環境改善センターの土間で、ブルーシートの上に広げてありました。ために製粉してもらったそばは、手で刈って、手でたばねて、ハゼ干ししていた分です。茎や葉っぱがたくさん入っていました。乾燥していたので、機械に詰まることなくきれいな粉になったようです。



そばの灰汁でこんにやくを手作りしたい...というささやかな思いから始まったそばの栽培。そばの生育は早く、比較的簡単!と思っていましたが大間違いでした。手で刈って、手でたばねて、ハゼ干して、脱穀して、製粉(この行程はいくつもある)する。更にそばを打って食する...となると、なかなか大変であることがわかりました。乾燥不足のそばの実は、花みどり公園研修室で乾燥中です。後日再び伺って、製粉させていただきます。

ICT(情報通信技術)と地域の活性化

2月5日(木)に、佐伯区役所で市長の地域懇談会(タウンミーティング)が行われました。今回のテーマは「ICT(情報通信技術)と地域の活性化」でした。

湯来ニユーツリズム推進実行委員会委員長の有本さんがパネリストとして参加。昨年11月中旬から1カ月間行った、衛星プロードバンド実証実験に関して発表されました。

プロードバンドが使えない世帯が、湯来地区には約300あること。生活面だけでなく、観光・産業振興にはプロードバンドの整備が急務であり、今年11月にオープンする新生湯来ロッジが観光と地域振興の拠点施設となればいいと話されました。

そのほか、安芸区阿戸町でコムネット(広島市の地域ポータルサイト)を立ち上げられた笹森さんの報告と、広島アキハバラ塾・塾長の河口さんが、湯来フィッシングガーデンさんの「チョウザメ」を例に、ネット販売の状況、ノウハウの一端を説明されました。

広島市は、平成22年度中には、地域による情報格差は解消されるように整備するとのこと。

お知らせ

●2月11日(祝・水)は狐原山の作業日です。準備の都合があります。2月8日(日)の定例会への出席・欠席もあわせて平木に連絡を

●あじさいの植栽は3月1日(日)を予定しています。

●3月の定例会は、8日(日)午後7時から湯来体育館会議室で行います。

●まちづくりワークショップ報告会は3月15日(日)時間は午後2時から。会場は佐伯区役所6階、大会議室です。参加は自由です。

●春のクリーンウォークは3月22日(日)の予定です。

●都市と農山村の共生・交流シンポジウム in 北広島町へ広げよう新たな交流の創出、農山村の魅力をかきた都市と農山村の交流による町づくりを、企業の社会貢献活動、子ども農山村交流プロジェクトをはじめ、様々な交流事業の推進により、いかに元気な地域を創造していくかを考えるシンポジウムです。

詳しくは別紙パンフ参照を。申し込みは2月13日(金)まで。

日時 2月18日(水)午前10時半〜午後4時15分

場所 芸北文化ホール(北広島町小田75-54)

問 北広島町企画課 ☎0826-72-0856